

みやま市バイオマス活用推進計画
(みやま市バイオマス産業都市構想)

山・川・大地・海・空
～資源循環のまちにいきる～

平成26年7月

みやま市

第 1 章 本市の概要

1－1 本市の現状

1－2 経済的特色

1－3 社会的特色

1－4 地理的特色

第 2 章 本市のバイオマス利用の現状と課題

2－1 バイオマス利用の現状

2－2 廃棄物系バイオマスの課題

2－3 未利用バイオマスの課題

第3章 目指すべき将来像と目標

3-1 バイオマス産業都市を目指す背景

3-2 バイオマス産業都市として目指す将来像

3-3 バイオマス産業都市として達成すべき目標

第4章 事業化プロジェクトの内容

4－1 事業化プロジェクトの全体概要

4－2 平成26年度に具体化する取組

4－3 5年以内に具体化する取組

4－4 10年以内に具体化する取組

4－5 検討中の取組

第5章 地域波及効果

5－1 地域のバイオマスの利用促進

5－2 地域循環型エネルギーの強化

5－3 地域産業振興・雇用創出

5－4 温室効果ガス削減

第6章 事業実施体制及びフォローアップの方法

6－1 事業実施体制

6－2 事業推進体制

6－3 フォローアップ方法

第 7 章 他の地域計画との有機的連携

7－1 その他の地域計画

7－2 バイオマス産業都市構想の位置付け

目 次

第 1 章 本市の概要

1-1	本市の現状	1-1
1-2	経済的特色	1-2
1-3	社会的特色	1-9
1-4	地理的特色	1-9

第 2 章 本市のバイオマス利用の現状と課題

2-1	バイオマス利用の現状	2-1
2-2	廃棄物系バイオマスの課題	2-2
2-3	未利用バイオマスの課題	2-5

第 3 章 目指すべき将来像と目標

3-1	バイオマス産業都市を目指す背景	3-1
3-2	バイオマス産業都市として目指す将来像	3-7
3-3	バイオマス産業都市として達成すべき目標	3-9

第 4 章 事業化プロジェクトの内容

4-1	事業化プロジェクトの全体概要	4-1
4-2	平成 26 年度に具体化する取組	4-2
4-3	5 年以内に具体化する取組	4-3
4-4	10 年以内に具体化する取組	4-20
4-5	検討中の取組	4-30

第 5 章 地域波及効果

5-1	地域のバイオマスの利用促進	5-1
5-2	地域循環型エネルギーの強化	5-1
5-3	地域産業振興・雇用創出	5-2
5-4	温室効果ガス削減	5-3

第6章 事業実施体制及びフォローアップの方法

6-1	事業実施体制	6-1
6-2	事業推進体制	6-1
6-3	フォローアップ方法	6-4

第7章 他の地域計画との有機的連携

7-1	その他の地域計画	7-1
7-2	バイオマス産業都市構想の位置付け	7-2

【用語】

- ・ はたき海苔：食品としての価値はないと評価される、色落ちした生の海苔（原藻）

第1章 本市の概要

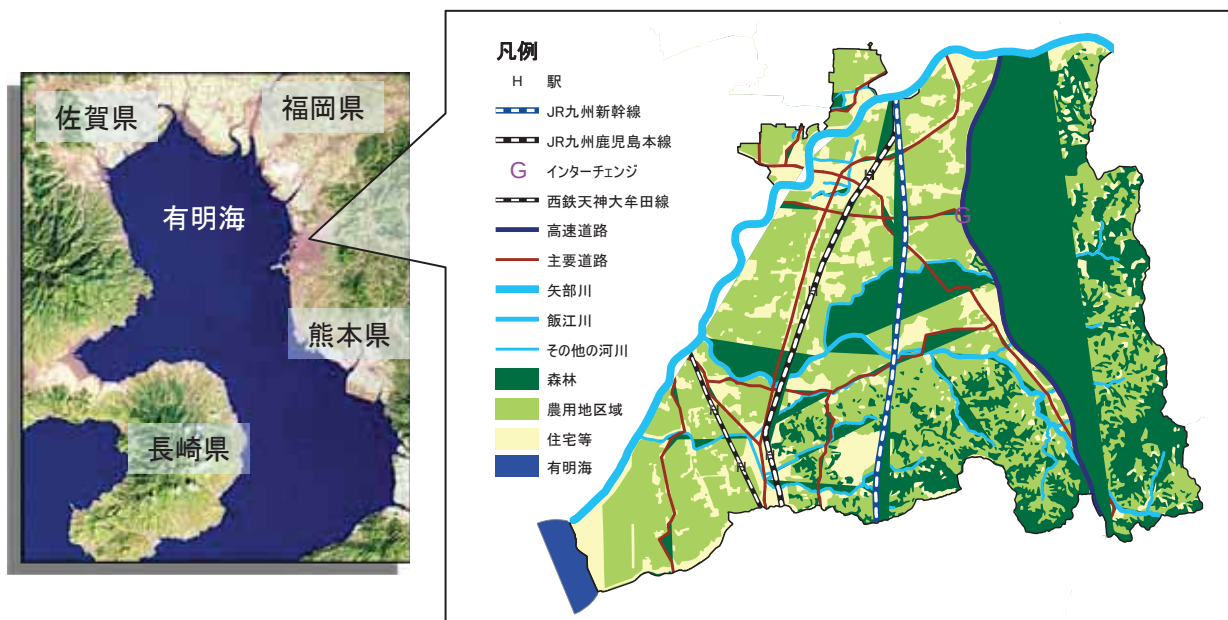
1-1 本市の現状

本市は福岡県の南西に位置し、東部は女王卑弥呼伝説を伝える女山（ぞやま）や清水山が連なり、西部は海苔や魚介類等の宝庫である有明海に面しています。また、市の西部を南北に清流矢部川、中央部を東西に飯江川が貫流し、肥沃な土壌を形成しています。

基幹産業は農業で、みかん、なす、いちご、セルリーなどの生産拠点となっています。しかし、中山間地の一部では耕作放棄地の増大により、放置された竹林、みかん畑、杉・ヒノキ林が増加し、イノシシの被害が増大している状況にあります。

本市は平成20年9月に策定した「第1次みやま市総合計画」における「人・水・緑が光り輝き夢ふくらむまち」を実現するための環境関連施策・事業の基本指針として、平成22年3月に「みやま市環境基本計画」を策定しました。また、平成24年には、化石燃料の枯渇、地球温暖化、東日本大震災における原子力発電所の事故を背景に再生可能なエネルギーを求める声が高まったことから、再生可能エネルギー導入可能性調査を実施しました。平成25年度には再生可能エネルギー導入可能性調査の結果を元に生ごみ・し尿汚泥系メタン発酵発電設備導入可能性調査等を行っており、このような新たなエネルギー創出を産業振興に活かすべく「バイオマス産業都市構想」を策定します。

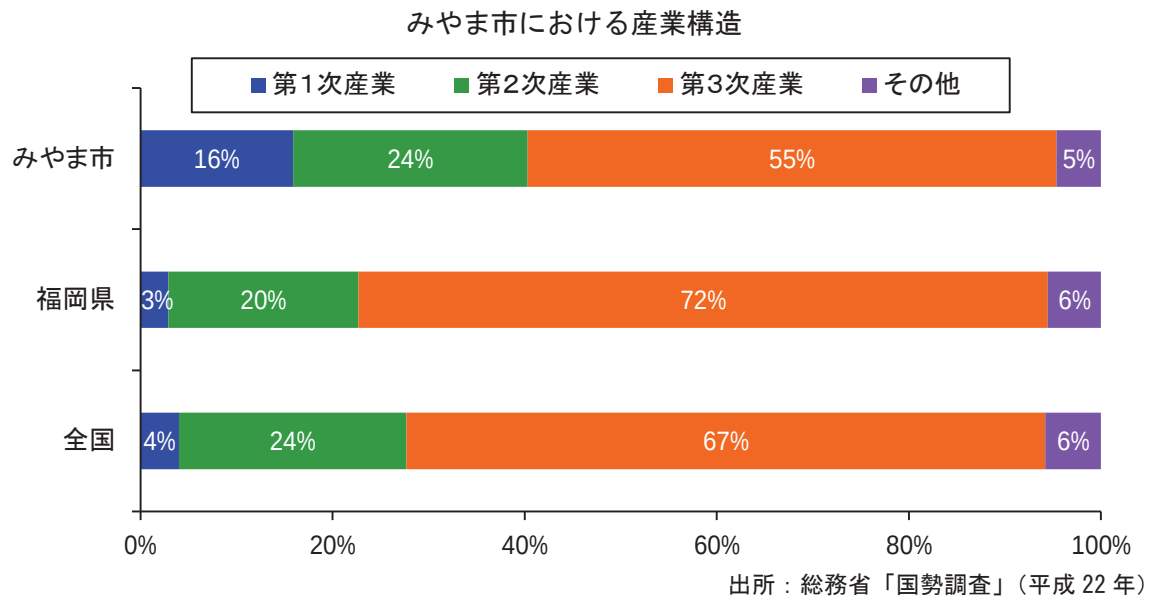
みやま市の位置図及び概要図



出所：国土交通省「国土数値情報（JPGIS 準拠）データ」

1-2 経済的特色

本市における産業構造別の就業人口を見ると、第 3 次産業が最も多く、続いて第 2 次産業、第 1 次産業となっています。このような産業構造は福岡県及び全国平均と同様ですが、第 1 次産業の比率が約 16%と高く、福岡県の約 3%、全国平均の約 4%に比べ非常に特徴的です。また、第 3 次産業の比率は約 55%と全体の過半数を占めていますが、福岡県の約 72%、全国平均の 67%に比べると低い割合となっています。



（1）【第 1 次産業】農林水産業

①農業

本市における平成 17 年度の農業就業人口は 5,143 人となっています。農業就業人口は平成 2 年から平成 17 年にかけて減少しており、同時に農業生産額も減少しています。

